

学級文庫、消毒グッズ、生徒別の整理ボックス — ロッカーの上に整然と並んでいます。(7月19日 3の1)

少し前に大学受験をテーマにしたTV番組が放送されました。超難関のT大合格を目指す高校生たちの姿を、学校やそれぞれの家庭のあり方を背景に映し出すリアルとバラエティーが相半ばした番組でした。

その中で印象的な言葉がありました。「仲間と勉強した方が伸びる時がある」— 主人公の教師が一人で勉強しようとする生徒に発した言葉です。切磋琢磨(せつたくま)できる友の存在がやる気を高めるという話に、彼は放課後や休業中を目標が同じ仲間と学習する道を選びます。

授業を離れた家庭学習や自主学習のあり方は多様です。一人で取り組んだ方が集中できる人もいれば、学習塾などに通う人も…。自分に合った方法をそろそろ確立していく時期です。

先週から「きくたけタイム」がスタートしました。市の支援事業の一つで、放課後や休業中に学校で自主学習の場を提供する取り組みです。事前に申し込んだ人に加え、「自分もやりたい」と参加を希望する人が増えてきました。

学校で友と席を並べ自主学習に取り組む — これも1つの学習方法でしょう。

きくたけタイム

3年生の夏休み⑧

—ゲームやスマホを御する者、受験を制す—

先月、本校で全生徒を対象にスマホやゲーム、インターネットの利用についてアンケートを行いました。その結果から、多くの生徒が自分専用の機器を持ち、休日のみならず学校のある平日もかなりの時間をゲームやネットに費やしている実態が浮かび上がってきました。

「驚き」というよりは「やはり」という思いの方が強く、この現実、保護者と共にどのように対峙していけばよいのか悩みは深まります。

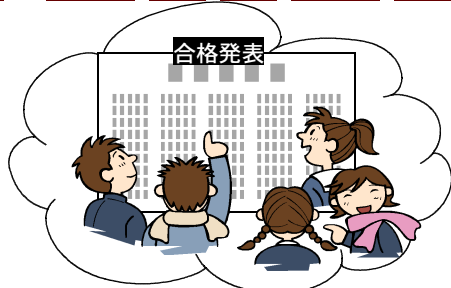
昨年度の2学年通信でも多くの紙面を割き、生活や学習に影響する大きな問題として、ゲームやSNSとの関わり方をお伝えしてきました。

ご家庭では、使用時間や課金、成績の急激な低下など余程のことがない限り、スマホやゲー

ムを生徒の手から遠ざけることはないかもしれませんが。(時には強権を発動し荒療治することも必要でしょうが…。)

夏休みは生徒が自宅で過ごす時間が増えます。ゲームやスマホとどのように関わっていくか、親子で改めて確認する必要があります。例えば、午前や午後の学習目標や時間を終えた後に○時間だけ使うなど、何が主であり従であるのか意識させることです。

「ゲームやスマホを御する者、受験を制す」——これは私の造語ですが、これまで生徒を見てきた実感でもあります。「御(ぎよ)せない(=自分で自制的に使えない)人はどうなっていくのか、とても心配です。



真路じつげん 君

- 【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
 ■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒